

川崎汽船 新造 LNG 船「尾州丸」 船内見学会を実施  
～香川県下の小学校 2 校を招待～

当協会は、「海と日本プロジェクト」の一環として展開した「船ってサイコ～」をはじめ、海運の重要性を一般の方々にご認識いただくべく広報活動に力をいれており、特に青少年を対象に海運や船員の仕事への理解増進に取り組んでおります。また学校教育において、わが国の暮らしと産業を支える海運のことで取り上げていただくよう、海事都市を中心にお願いをしており、地元の海事関連施設と組み合わせた見学会等も実施しております。

昨年同様、川崎重工業坂出工場にて同社および川崎汽船の協力を得て新造 LNG 船「尾州丸」の見学会を、9 月 14-15 日の 2 日間にわたり実施し、県下の小学 5 年生約 150 名及び学校関係者の方々を招待しました。

招待先の学校から同工場まで、川崎汽船 吉田船長・佐々木一等航海士や同社 LNG 船部門の担当者が貿易量の 99%以上は船による輸送であるなど暮らしを支える海運の重要性や船の運航に関して LNG 輸送の例をもとにした説明を行いました。

同工場到着後、まずは LNG 船建造工程や工場概要の説明を小学生は聞き、世界トップクラスの造船技術が海運を支えていることを学びました。その後、吉田船長・佐々木一等航海士らの先導で全長約 300m の巨大な LNG 船に乗り込みました。船内では、ブリッジ（操舵室）や船員居住区、エンジンルーム（機関室）などを見学し、レーダーやコンパスなどの航海機器の操作を食い入る様に見入っておりました。



また、移動中のバス車内では小学生から、「船のスピードは」「船の値段は」など船に関することから「家族の写真は持っていくのか」「船の中では運動はできるのか」などの船員の生活に関することまで質問が途切れることなくありました。見学会を終えた小学生からは「エンジンが大きくてびっくりした」「（船長室や娛樂室を見学して）将来は海運会社で働いて船に乗りたい」などの感想が寄せられ、海運や船員に対する理解が深まる機会となりました。なお、見学会の様子は、地元のテレビや新聞でも紹介されました。

当協会では、今後とも各自治体や地元企業等からのご協力も仰ぎながら皆様の日々の生活を支える海運を広く知っていただくための活動をしてまいります。

